

EXPO 2027 YOKOHAMA JAPAN

# 持続可能性に配慮した調達コード の方向性について

公益社団法人 2027年国際園芸博覧会協会

# 持続可能性に配慮した調達コードの方向性（案）



- 博覧会協会・出展者等が、物品・サービス等を調達するに当たって遵守する「**持続可能性に配慮した調達コード（案）**」について、委員会や関係者等のご意見を伺いながら、**2023年度中に策定・公表予定です。**
- 調達コードは、**AIPH規則等の要求事項や提出資料ではありませんが**、東京オリパラ、大阪・関西万博等では、調達コードを策定しており、GREEN×EXPO 2027においても、先行事例を参考に策定することとしています。
- 東京オリパラ、大阪・関西万博では、**5つの一般調達基準**、**6つの個別調達基準**を設定しており、当博覧会においても重要な内容のため、先行事例に準じて策定します。
- また、個別調達基準には、**新たに園芸博ならではの「⑦植物」**の設定を検討中です。

博覧会協会では検討中の調達コードの構成（案）	
一般調達基準	①全般、②環境、③人権、④労働、⑤経済 の5つの基準の構成を検討中
個別調達基準	①木材、②紙、③農産物、④畜産物、⑤水産物、⑥パーム油、 <b>⑦植物</b> の7つの物品の設定を検討中

参考：東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会 東京都ポータルサイト「[持続可能性に配慮した調達コード（第3版）](#)」  
公益社団法人2025年日本国際博覧会協会HP「[持続可能性に配慮した調達コード（第2版）](#)」

# 持続可能性に配慮した調達コードとは

- **調達コード**とは、大規模イベント等の**準備・運営段階の調達プロセス**において、経済合理性のみならず**持続可能性にも配慮した調達**を通じて、社会的責任を果たすために策定するものです。
- 大規模イベント等の主催者は、調達コードの遵守を、関係者との共同の取組として推進するとともに、調達コードと同様の取組が拡大し、広く社会に持続可能性を重視する姿勢が定着するように働きかけます。

※東京オリパラ、大阪・関西万博の調達コード等を参考に作成

東京オリパラ

大阪・関西万博

参考：東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会 東京都ポータルサイト  
「[持続可能性に配慮した調達コード（第3版）](#)」  
公益社団法人2025年日本国際博覧会協会HP  
「[持続可能性に配慮した調達コード（第2版）](#)」



# 持続可能性に配慮した調達コード 目次（案）

## 目次①

1	趣旨	
2	適用範囲	
3	持続可能性の原則	
4	持続可能性に関する基準	4.1 全般
		4.2 環境
		4.3 人権
		4.4 労働
		4.5 経済
5	物品別の個別基準	5.1 木材
		5.2 紙
		5.3 農産物
		5.4 畜産物
		5.5 水産物
		5.6 パーム油
		5.7 植物

## 目次②

6	担保方法
7	通報受付窓口
8	その他

# 調達コードの適用範囲（検討中）

- 東京オリパラでは対象外としていた事業者や出展者等について、大阪・関西万博では対象としています。
- GREEN×EXPO 2027では、大阪・関西万博に準じながら、事業特性や出展者等の形態・規模等が異なるため、出展者等が対応可能な内容を検討します。

	GREEN×EXPO 2027 (案)	東京オリパラ	大阪・関西万博
<b>① 一次サプライヤー（協会と直接契約する者）</b>			
建設業者	対象	対象外	対象
事業者（物品・サービス）	対象	対象	対象
事業者（制作物）	対象	対象外	対象
ライセンシー（協会とのライセンス契約者）	対象	対象	対象
出展者等	(出展者等)	(対象外)	(パビリオン運営主体等)
各国政府・国際機関	対象	対象外	対象
自治体	対象	対象外	対象
出展者（企業・団体等）	対象	対象外	対象
<b>② 二次サプライヤー以降（①との契約者、その先の契約者）</b>	対象	対象	対象

# 一般調達基準の方向性（案）

①全般、②環境、③人権、④労働、⑤経済の5つの一般調達基準を検討中です。

基準	博覧会協会で開催中の一般調達基準（案）の概要
① 全般	<ul style="list-style-type: none"><li>法令遵守：国内外の法令等を遵守するとともに、国際規範を尊重すること</li><li>報復行為の禁止：法令違反や差別、調達コード違反等の行為を通報した者に対する報復行為の禁止</li></ul>
② 環境	<ul style="list-style-type: none"><li>環境負荷低減のために、国が策定する法令や方針等の水準を満たす物品・サービスを求める</li><li>物品・サービスの製造・流通等を含むバリューチェーン全体でも、環境への配慮を求める</li></ul>
③ 人権	<ul style="list-style-type: none"><li>国連グローバルコンパクトの理念を支持し、ダイバーシティ（多様性）とインクルージョン（包摂性）の観点を重視する</li></ul>
④ 労働	<ul style="list-style-type: none"><li>ディーセント・ワークの実現に向けて、適正な労務管理と労働環境の確保を求める</li><li>ワーク・ライフ・バランスを推進する</li></ul>
⑤ 経済	<ul style="list-style-type: none"><li>経済・事業活動において、環境、社会、経済の3つが調和し、日本経済の持続的成長に貢献するため、公正な事業慣行や地域経済に関する取組を重視する</li></ul>

# 個別調達基準の方向性（案）

- 個別調達基準は、一般調達基準に加えて、個別の物品・サービス等の調達にあたり内容、品質等を規定する基準として適用します。
- **新たに園芸博ならではの「植物」を含めた7つの個別調達基準**を検討中です。

基準	博覧会協会で開催中の個別調達基準（案）の概要
① 木材	伐採手続きや森林管理の適切性、生態系の保全、先住民族や地域住民の権利の配慮、作業者の労働安全の確保等を求める
② 紙	古紙パルプの活用のほか、バージンパルプについては、木材と同様の内容を求める
③ 農産物	食材の安全、周辺環境や生態系と調和した農業生産、作業者の労働安全の確保等を求める
④ 畜産物	食材の安全、環境保全、作業者の労働安全、快適性に配慮した家畜の飼育管理等を求める
⑤ 水産物	適切な漁獲・生産、天然水産物の資源管理、養殖水産物の生態系の保全や食材の安全、作業者の労働安全の確保等を求める
⑥ パーム油	生産国等の法令の遵守、生産現場における環境保全や労働環境の確保等を求める
<b>⑦ 植物</b>	<b>周辺環境や生態系に配慮した観賞用の植物の生産、作業者の労働安全の確保等を求める</b>